

みずほCustomer Desk Report 2016/09/02 号(As of 2016/09/01)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBR/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	103.32	1.1156	115.27	0.9838	1.3135	0.7519
SYD-NY High	104.00	1.1206	115.80	0.9885	1.3318	0.7559
SYD-NY Low	103.06	1.1127	115.05	0.9785	1.3128	0.7505
NY 5:00 PM	103.23	1.1197	115.58	0.9800	1.3269	0.7552
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	13.275/13.975	△25RR	0.170	Yen Put Over		

NY DOW	18,419.30	18.42	債券市場	日本2年債	-0.1820	1.4bp
NASDAQ	5,227.21	13.99		日本10年債	-0.0480	1.5bp
S&P	2,170.86	▲0.09		米国2年債	0.7816	▲2.4bp
日経平均	16,926.84	39.44		米国5年債	1.1799	▲1.8bp
TOPIX	1,337.38	7.84		米国10年債	1.5681	▲1.2bp
シカゴ日経先物	16,965	40.00	為替市況	独10年債	-0.0660	▲0.1bp
ロンドンFT	6,745.97	▲35.54		英10年債	0.6680	2.6bp
DAX	10,534.31	▲58.38		豪10年債	1.8430	1.9bp
ハンセン指数	23,162.34	185.46		USD/CNH	6.6858	▲0.0057
上海総合	3,063.31	▲22.19		ドルインデックス	95.64	▲0.38
USDJPY 3M Vol	12.73	0.03%	商品市況	CRB指数	178.209	▲2.00
USDJPY 6M Vol	11.86	▲0.01%		NY金	1,317.100	5.70
EURJPY 3M Vol	11.38	0.04%		WTI	43.160	▲1.54
EURJPY 6M Vol	11.18	▲0.02%		Dubai Spot	43.38	▲1.45

東京	東京時間のドル円は103.32レベルでオープン。その後、特段の材料がなかったものの、103.06の安値をつける。しかし、発表された中国8月製造業/非製造業PMIに加え、同8月財新・製造業PMIがすべて節目である50を上回る無難な結果となったことでリスクセンチメントが後退することはならず、日経平均株価は堅調推移。ドル円も一段の下押しとはならず103円台前半まで底堅く推移。午後は、2日(金)に予定される米8月雇用統計を控えて動意が乏しく、103円台前半のレンジ推移が継続。結局、ドル円は103.34レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は終日堅調。朝方は103.34レベルでオープン、ロンドン時間序盤は全般的なドル買いの流れとなる中、ドル円は103円台前半から半ばまで上昇。英8月製造業PMIの強い結果もあり、欧州株が上昇する中でポンド円をはじめとするクロス円が上昇。その流れに牽引されドル円も堅調に推移。103.64レベルでNYへ渡った。ポンドドルは英経済指標の強い結果を受け大きく上昇する展開となった。朝方は1.3145レベルでオープン、英8月マークイット製造業PMIが53.3と市場予想(49.0)を大きく上回り、昨年10月以来の高水準を記録したことを受けGBPが大きく買われ、ポンドドルは1.32台半ばまで上昇。その後は小動きとなり、1.3269レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	ドル円は103.64レベルでNYオープン。朝方発表された米8月マークイット製造業PMIは予想範囲内の結果であったことから、ロンドン時間のポンド円上昇の流れにつられたドル円上昇の流れが継続。ドル円は高値104.00をつける。しかし、発表された米8月ISM製造業景況指数が49.4と節目である50を下回る結果となると主要通貨に対しドルが大幅に売られる展開となり、ドル円は103.12まで急落。その後は2日(金)に米8月雇用統計の発表を控えて下げ渋ったものの、軟調な株式市場、原油相場を横目に上値の重い展開となり、103.23レベルで海外市場へ渡った。一方ユーロドルは1.1150レベルでオープン。米8月ISM製造業景況指数の結果を受けてドル売りが強まると1.1206まで急伸。その後も底堅い推移が続き、1.1197レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 高田・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月1日	08:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	8月 50.4/53.5	49.8/-
	10:30	豪 小売売上高(前月比)	7月 0.0%	0.3%
	10:45	中 財新・製造業PMI	8月 50.0	50.1
	17:00	欧 製造業PMI・確報値	8月 51.7	51.8
	17:30	英 マークイット・製造業PMI	8月 53.3	49.0
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	263K
	22:45	米 製造業PMI・確報値	8月 52.0	52.1
	23:00	米 建設支出(前月比)	7月 0.0%	0.5%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	8月 49.4	52.0

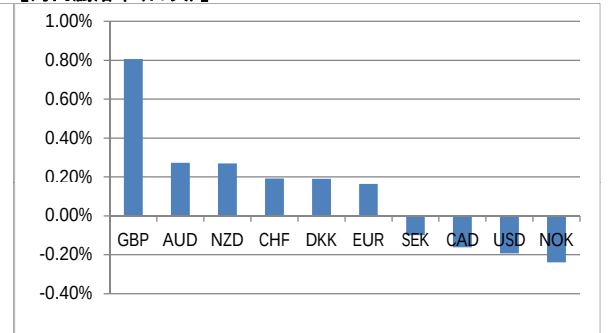
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月2日	21:30	米 貿易収支	7月 -\$41.4B	-\$44.5B
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	8月 180K	255K
	21:30	米 失業率	8月 4.8%	4.9%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	8月 0.2%/2.5%	0.3%/2.6%
	23:00	米 耐久財受注(確報、前月比)	7月 4.4%	4.4%
9月3日	02:00	米 ラッカー・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	101.50-104.50	1.1100-1.1250	113.50-116.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル/円は上方向に往って来いの展開。米国による早期利上げ観測を背景としたドル買いフローから一時104円丁度をつける場面もあったが、予想外に米8月ISM製造業景況指数が悪化したことを受けて103円台前半まで押し戻された。本日の東京時間のドル/円は米8月雇用統計発表前につき方向感に乏しい展開となろう。足許要人発言で上伸した利上げ期待の裏付けデータ・指標となる米雇用統計を確認するまでは、市場参加者は積極的なポジションをとり難いであろう。